

能生中学校だより



三一銭

能生中ホームページ <http://www.itoigawa.ed.jp/nou-jhs/>

令和3年11月22日

NO. 6

糸魚川市立能生中学校

☎ 949-1352 能生2643

☎ 025-566-2065



能生中トピックスから (能生中ホームページから抜粋)

<創立30周年記念>

令和3年度能生中学校音楽祭>



10月23日(土) 創立30周年となる当校音楽祭を実施しました。コロナ禍ということで、様々な制限や工夫を加えながらの実施となりました。生徒はマスクをしておの発表となりました。この逆境を、むしろプラスに捉えて、クラスや学年の絆を深めようと昼休みも、放課後も約3週間練習してきました。中には、朝練に取り組む生徒もありました。当日、それぞれ緊張感をもちながら、心温まる絆を表現することができました。校外からお願いした審査員からマスクをしていることが全く気にならない合唱でしたと褒めていただいたことは、今後の励みになります。

この、それぞれの生徒が感じた感動や達成感が今後の学校生活、もっと先の将来に生かされることを願っています。

<地域を明るくする運動>

第2回駅前挨拶運動>

今年度の2回目となる小、中、高、地域の

方々で行う挨拶運動が27日から3日間の予定でスタートしました。初日は近隣の小学校、高校に加え、再来年度に近隣小学校と統合予定となっている小学校の5、6年生と先生方も参加してくれました。車で10分程ではあります



が、わざわざ参加いただいたことに感謝ばかりです。また、コロナウィルス禍で合同の活動ができなかった能生地区まちづくり推進協議会の皆さんや今回2回目となる保護司会の皆さんからの参加もあり、総勢60名程で活動することができました。



能生中は、生徒会の役員と呼びかけに集まってくれたボランティア、教職員で25名程で参加しています。

挨拶運動に先駆けて全校生徒から募集した挨拶標語にも、沢山の応募がありました。優秀作品10品から選ばれた今回の運動スローガンは『あいさつで 広がる笑顔 地域の輪』。横断幕にした紙を10名程の生徒で広げ、大きな声で挨拶していきました。小学生の元気な声の挨拶も駅の駐車場に広がっていきました。高校生からは、電車を利用して登校してくる仲間に、明るい笑顔も送られます。

運動の最後に、参加してくれた人たちに感謝



の気持ちと共に「全国各地で猛威を振っていた新型コロナウイルス感染症も落ち着いてきて、日常の生活に戻りつつあります。この挨拶運動が地域を明るくする復活の兆しになるように、今後の活動にも皆さんの協力をお願いします。」と生徒会長から挨拶があり、駅前に拍手の音が響き渡りました。

挨拶運動に参加してくれた近隣小学校の児童と駅前から学校に向かう登校班の児童を送り、中学生の活動が終了。

生徒の目線で始めた地域を明るくする運動も今回で4回目。確実に広がっていく“地域の輪”を感じることができた清々しい朝でした。

<小・中音楽祭

吹奏楽部3年生の最後の演奏>



10月28日の午後に糸魚川市小・中・特支学校音楽発表会が開催されました。昨年度は感染症の感染拡大防止のために中止になっていたもので2年ぶりの開催でした。発表毎のステージ上の消毒や保護者等の鑑賞を無くすなど感染対策を充分に行い、能生中学校区の小・中学校が参加しての開催です。

能生中学校からは、吹奏楽部が参加して、『となりのトトロ・ストーリーズ ミッキーマウス・マーチ』の演奏を行いました。3年生に

としては、能生中学校吹奏楽部として演奏する最後です。一人一人が思いを込めて演奏していきます。演奏の途中には小学生にも楽しんでもらえるように散歩の様子を行進スタイルで表したり、手拍子を入れるなど工夫して演奏しました。演奏後には大きな拍手が送られ、部員の顔にもやり遂げた充実感が、笑顔で表現されていきました。

県独自の緊急事態宣言が発令され、開催が危ぶまれた時期もありましたが、関係の先生方の熱意と十分な感染対策のなか、児童、生徒のために音楽祭が実施されたことに、厚く感謝し、御礼申し上げます。

<1年生後期代議員が任命

級長、副級長としての決意>



2日の全校朝会で1年生の後期代議員が任命されました。これは5小学校から入学してくることから、1年生のみ前期、後期制で級長と副級長（生徒会代議員）を決めているからです。生徒会長から1組、2組のそれぞれの正副級長に生徒会の代議員任命書が手渡されました。任命式後に4名からは「明るく元気のある学級にしていきたい」「前期の経験を生かして、級長を助けて学級をまとめていきたい」などの決意が述べられました。

体育祭や音楽祭を経験して、学年や学級のまとまりが高まった1年生。新たなリーダーが学級をまとめていってくれることでしょう。

3学期には1年生が、新入生の入学説明会で全校を代表して中学校生活の様子を発表してくれます。リーダーだけでなく、フォロワーとしても一步一步先輩への道を歩んでいってください。期待しています。

<SNGs 始まる！>



能生中創立 30 周年記念として、現在もこれからも能生中学校のあるべき姿を「後世に伝える能生中生の心得」としてまとめる取組を行いました。クラス会議、リーダー会議を経て、下のよう

に決定しました
正式名称：SNGs（Sustainable Nou Goals 持続可能な能生中の目標）呼称：エスエヌジーズ

心得の具体的な内容としては次の 5 項目を定め

◎先手挨拶

～まずは自分から、繋がる人との輪～

◎心地よい反応

～相手にあいづち・アイコンタクト～

◎満点学習

～集中力もマナーも満点～

◎感謝の連鎖

～すべてに感謝の行動を～

◎地域に貢献

～積極的に関わる気持ち～

今後、この 5 項目が一人一人の生徒の姿として表れ、未来へ受け継がれていくよう取り組んでいきます。

生徒会では、現在役員選挙に向けて、動いています。「総務の仕事体験」活動も行っています。きっと SNGs と共に新たな伝統を築いていくと思います。

PTA文化講演会

キラキラした場所で働く

PTA文化部が主催する講演会が 16 日の 5

限目に行われました。

今回講師をお願いした方は、校区に移住され、地域の方々が 20 年間守り続けてきた温泉



宿泊施設を管理運営されている屋村さんです。

屋村さんのお話のキーワードとなっていたのは、『選択』です。ご自身の高校選択や就職、そしてこの能生地域への移住。それぞれの場面で自身の選択に責任をもち、その選択を応援してくれたり、支えてくれた人々に感謝の気持ちをもって生活されている様子をキラキラする笑顔で話してくれました。

朝 5 時の始発で学校に 1 時間半かけて通学して、夜 11 時に帰宅する高校時代も自分が学びたいと決めた高校だったので苦にはならなかったと。まさに高校選択に揺れ動く中学生にとっては、その価値観に触れられたことが大きな学びとなりました。



現在の仕事は、住んでいる集落の『日常』を経験してもらうこと。この地でしかできない不便さも丸ごと体験してもらうことに生きがいを感じて働いているそうです。

東京でキラキラした仕事（世界的なアウトドア企業）の広告営業をされていたところから、不便とも思われる田舎暮らしと地域の人たちとの温かな交流に魅せられて移住を決意し、そのおかげでこの能生地区で、真の”キラキラした場所、仕事”を感じていると熱く語ってくれました。

生まれ育った糸魚川の素晴らしさに気づくことができた一時でした。